

<日本株式>

2018年度下期の日本株投資テーマ

～相場上昇とともに物色人氣が復活へ！～



＜2018年度下期の日本株投資テーマ＞

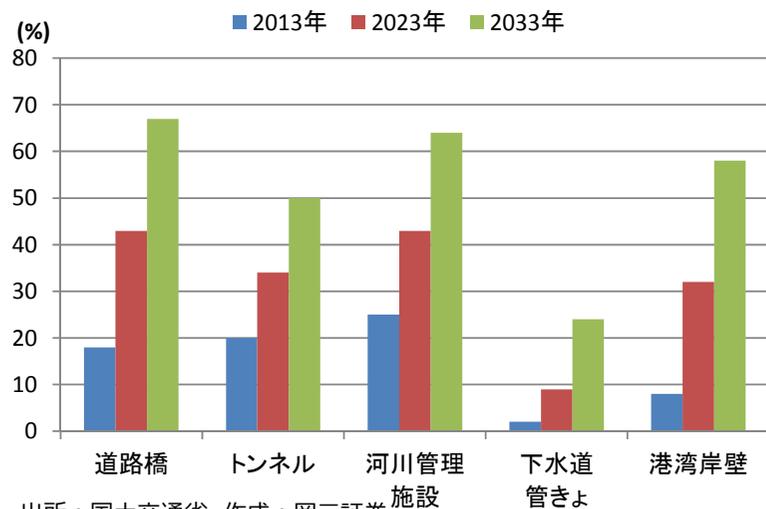
- ① 新たな技術が社会インフラを支える
- ② 業務効率化を支えるITサービス企業
- ③ 「人生100年時代」到来！
- ④ “アドテク”活用で消費者を狙い撃ち！
- ⑤ 裾野広がるシェアリングエコノミー

① 新たな技術が社会インフラを支える

～ ICT施工が人手不足解消の切り札に ～

《老朽化が進む社会インフラ》

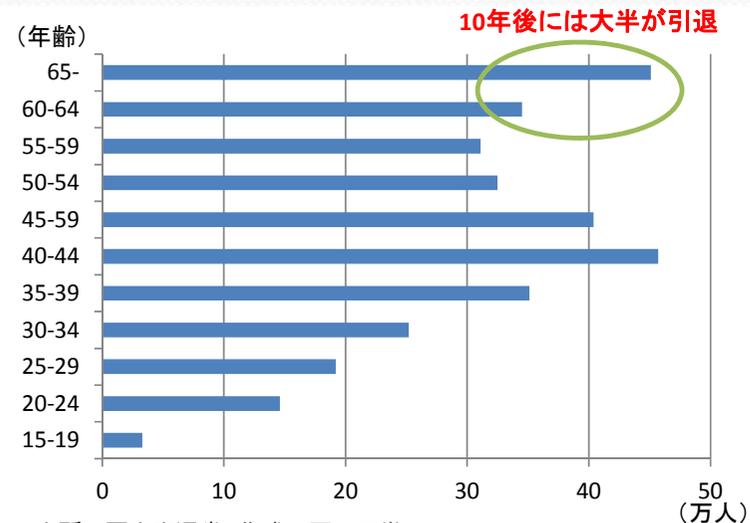
築後50年以上経過する割合



出所：国土交通省 作成：岡三証券

《高齢化で人材不足がより深刻化へ》

年齢別技能労働者数



出所：国土交通省 作成：岡三証券

《主な関連銘柄》

ゼネコン	安藤ハザマ(1719)、大成建(1801)、大林組(1802)、清水建(1803)、鹿島(1812)、西松建(1820)、前田建(1824)、熊谷組(1861)
橋梁	PS三菱(1871)、川田TECH(3443)、横河ブHD(5911)、駒井ハルテク(5915)
インフラ点検関連	ミライトHD(1417)、ALSOK(2331)、富士フイルム(4901)、パナソニック(6752)、建設技研(9621)
補修関連	ショーボンド(1414)、ライトエ(1926)、エスイー(JQ3423)、コニシ(4956)
ICT建機・航空測量	コマツ(6301)、トプコン(7732)、パスコ(9232)、アジア航(9233)、カナモト(9678)、西尾レント(9699)
建築・土木・測量システム	オプティム(3694)、アイサンテクノロ(JQ4667)、日立(6501)、福井コンピ(9790)

※JQはジャスダック。オプティムは貸株注意喚起銘柄（10月10日現在）。

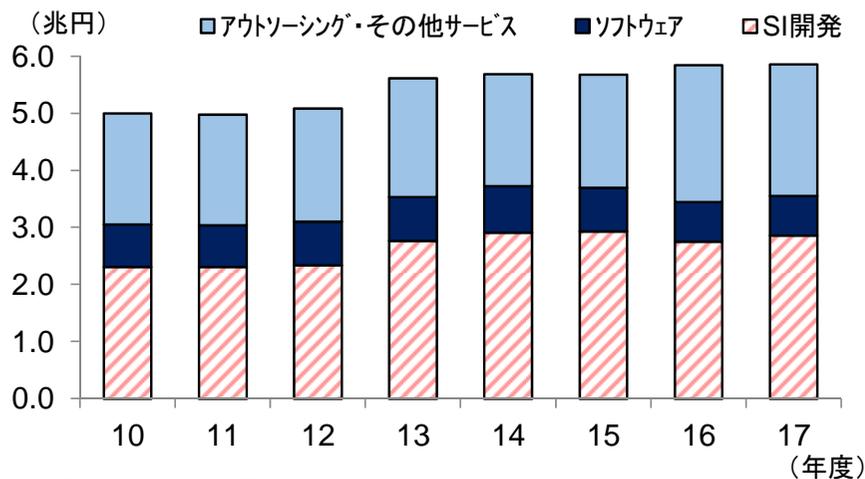
最後に重要な注意事項が記載されていますので、十分にお読みください。

②業務効率化を支えるITサービス企業

～ クラウドなどに対応した需要も追い風に ～

《 ITサービス市場は緩やかな拡大基調が続く》

種類別ソリューションサービス市場規模推移



※出所: JEITA、作成: 岡三証券

《企業の情報化投資は他の投資に比べて旺盛》

情報化投資の動向
(有形固定資産投資との比較)



※出所: 日本政策投資銀行、作成: 岡三証券

※情報化投資定義: コンピュータおよび周辺機器、通信ネットワーク構築、ソフトウェア開発費などで、無形固定資産の取得や費用処理による分を含む

《主な関連銘柄》

SI	メーカー系	日立(6501)、NEC(6701)、富士通(6702)
	ユーザー系	NSSOL(2327)、NRI(4307)、ソフトバンクテク(4726)、サイボウズ(4776)、ISID(4812)、日ユニシス(8056)、NTTデータ(9613)
	商社を含む独立系	TIS(3626)、IIJ(3774)、CTC(4739)、大塚商(4768)、オービック(4684)、ネットワン(7518)、SCSK(9719)、富士ソフト(9749)、NSD(9759)
ソフトウェア	システナ(2317)、ラクス(M3923)、オロ(3983)、OBC(4733)、グレイス(6541)、ピーシーエー(9629)、TKC(9746)、ミロク情報(9928)	
その他	ダイワボウHD(3107)、オプティム(3694)、豆蔵(3756)、フォーカスS(4662)、TDCソフト(4687)、日本オラクル(4716)、ITFOR(4743)、NSW(9739)	

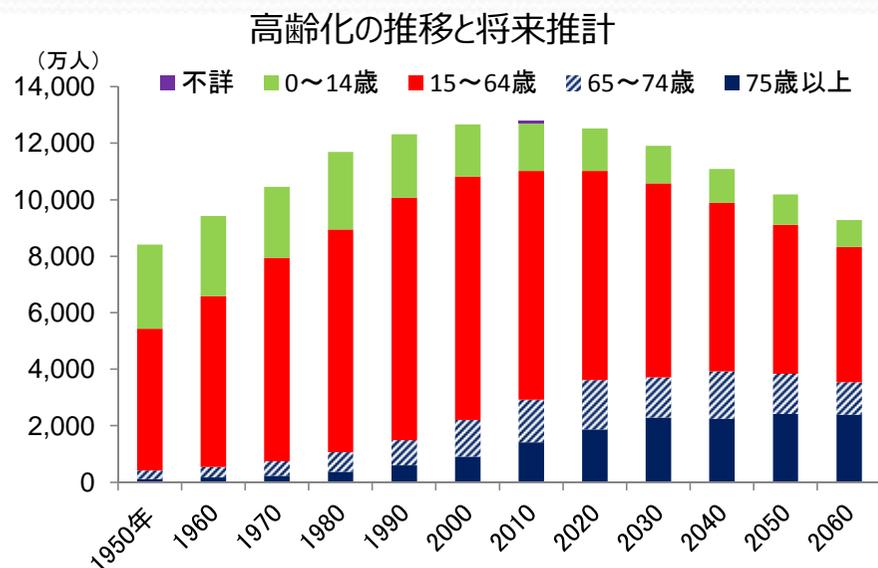
※MIはマザーズ。 ※オプティムは貸株注意喚起銘柄(10月10日現在)。

最後に重要な注意事項が記載されていますので、十分にお読みください。

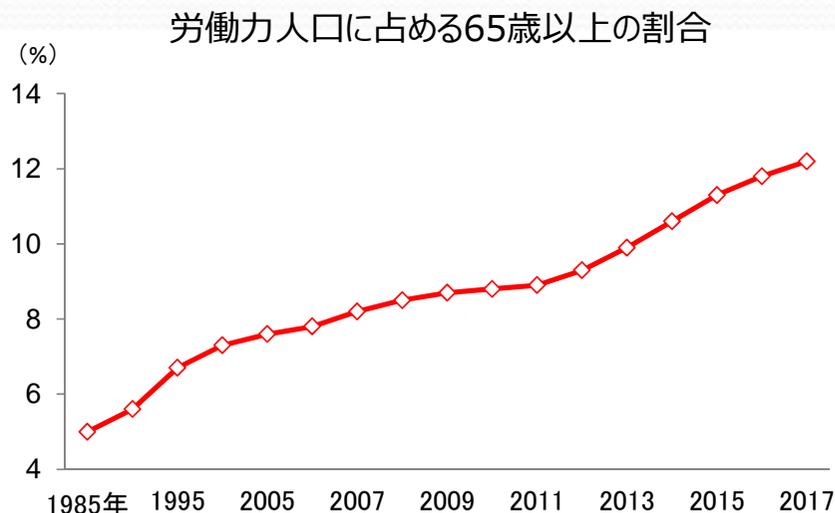
③「人生100年時代」到来！

～ 高齢者雇用拡大で予防医療や人材関連に注目 ～

《75歳以上が増加、生産年齢人口は減少へ》



《65歳以上の就業率は増加傾向》



《主な関連銘柄》

予防医療(診断機器等)	富士フィルム(4901)、コニカミノルタ(4902)、日立(6501)、NEC(6701)、日光電(6849)、堀場製(6856)、シスメックス(6869)、島津製(7701)、トプコン(7732)、オリンパス(7733)、HOYA(7741)、キヤノン(7751)
フィットネス・スポーツクラブ	コシダカHD(2157)、ルネサンス(2378)、セントラルSP(4801)、東祥(8920)、コナミ HD(9766)、バローHD(9956)
健康・機能性食品	森永菓(2201)、森永乳(2264)、ヤクルト(2267)、アサヒ(2502)、キリンHD(2503)、サントリーBF(2587)、伊藤園(2593)、味の素(2802)、カゴメ(2811)、北の達人(2930)、大塚HD(4578)、資生堂(4911)、ファンケル(4921)
就職支援・学び直し	JACR(2124)、パーソルHD(2181)、リクルートHD(6098)、キャリア(M6198)、インソース(6200)

※Mはマザーズ。

最後に重要な注意事項が記載されていますので、十分にお読みください。

④“アドテク”活用で消費者を狙い撃ち！

～ インターネット広告市場の成長に商機あり ～

「アドテク」=アドバイジングテクノロジー

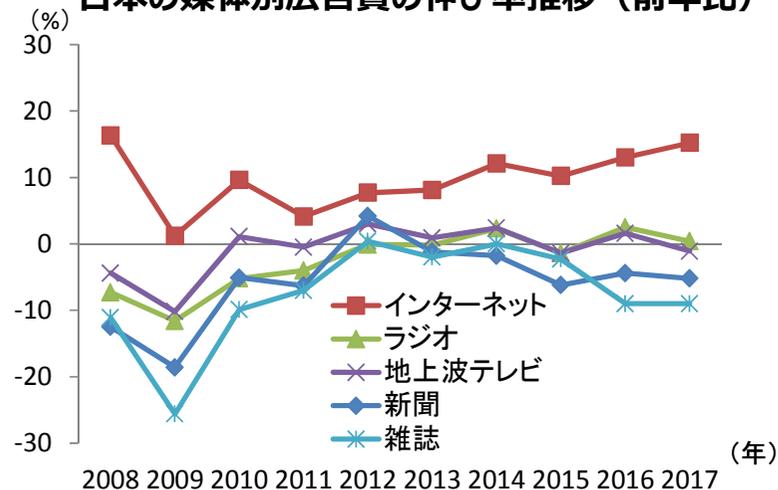
《インターネット広告向け広告費の伸び率は突出》

《アドテクの一例》

DSP (Demand Side Platform)	広告主・広告代理店のためのシステム。広告枠の買い付け、配信、消費者のターゲティングなど効果的な広告を打つために必要なあらゆる事項の最適化を自動で行う。
SSP (Supply Side Platform)	広告を掲載する媒体のためのシステム。広告枠に対して最も高額な広告料を提示した広告を表示させる。
リワード広告	広告を通して購入や会員登録、アプリのダウンロードなどのアクションを起こしたユーザーに対してポイントやアイテムを還元する手法。

出所：各種資料 作成：岡三証券

日本の媒体別広告費の伸び率推移（前年比）



出所：電通「2017年 日本の広告費」 作成：岡三証券

《主な関連銘柄》

広告代理店	セーラー広告 (JQ2156)、博報堂DY (2433)、UNITED (M2497)、ソーシャルワイヤ (M3929)、電通 (4324)
インターネット広告	ITM (M2148)、フルスピード (2159)、サイネックス (2376)、オプトHD (2389)、アウンコンサル (2459)、ファンコミ (2461)、UNITED (M2497)、オークファン (M3674)、VOYAGE (3688)、ロックオン (M3690)、セプターニHD (JQ4293)、ヤフー (4689)、サイバページ (4751)、GMO-AP (JQ4784)、GMO TECH (M6026)、フリークアウト (M6094)、メタップス (M6172)
アドテク関連 (DSP、アフィリエイトなど)	Iスペース (M2122)、フルスピード (2159)、ASJ (M2351)、アドウェイズ (M2489)、Vコマース (2491)、レントラックス (M6045)、ネットマーケ (6175)、GMOメディア (M6180)、SMN (M6185)、アイモバイル (6535)、ジーニー (M6562)
プラットフォーム企業	カカクコム (2371)、エムスリー (2413)、インフォマート (2492)、アスクル (2678)、MonotaRO (3064)、ZOZO (3092)、オイラ大地 (M3182)、オプティム (3694)、GMOPG (3769)、メルカリ (M4385)、パーク24 (4666)、楽天 (4755)、リクルートHD (6098)

※JQはジャスダック、Mはマザーズ。 ※アウンコンサルは日々公表銘柄、ロックオン、アスクル、オプティム、GMOPGは貸株注意喚起銘柄（10月10日現在）。

最後に重要な注意事項が記載されていますので、十分にお読みください。

⑤裾野広がるシェアリングエコノミー

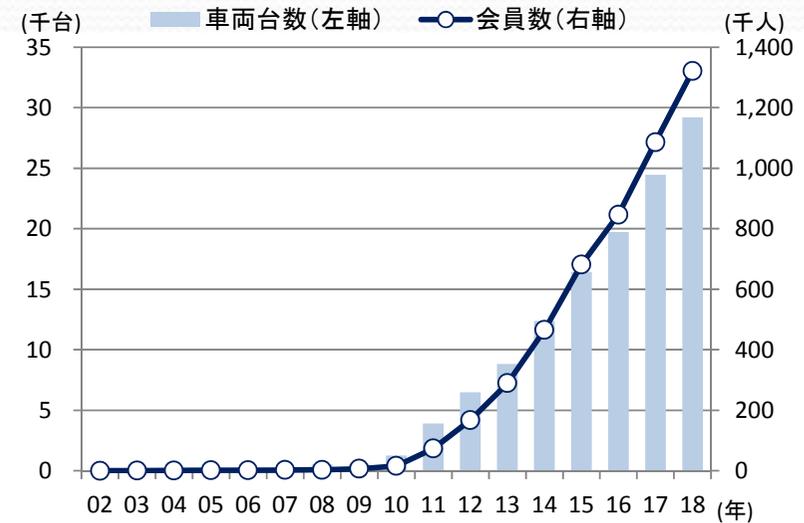
～ 「移動」や「スペース」に焦点 ～

《潜在的なシェアリングの市場規模》



出所：情報通信総合研究所、作成：岡三証券

《日本のカーシェアリング車両台数と会員数》



出所：各種媒体、作成：岡三証券

《主な関連銘柄》

スペース(民泊、貸会議室等)	LIFULL(2120)、TKP(M3479)、エボラブルA(6191)、大京(8840)、京王(9008)
モノ(フリマ、レンタルサービス等)	コメ兵(2780)、GMOペパ(JQ3633)、メルカリ(M4385)、楽天(4755)、ヤフー(4689)
移動(カーシェア、ライドシェア等)	日駐(2353)、DeNA(2432)、トヨタ(7203)、IDOM(7599)、オリックス(8591)
スキル(家事代行、知識等)	リアルワールド(M3691)、クラウドワークス(M3900)、グローバルウェ(M3936)、シェアリングT(M3989)
お金(クラウドファンディング等)	サイバエージ(4751)、パルコ(8251)

※JQはジャスダック、Mはマザーズ。

最後に重要な注意事項が記載されていますので、十分にお読みください。

<各テーマの参考銘柄>

①

7732 (売買単位:100株)

トプコン

		連結経常利益 (伸び率)	
		2018/3	10,674 (40.0%)
9/26株価	2,090 円	2019/3予	13,000 (21.8%)
連予PER	32.3 倍	2020/3予	17,000 (30.8%)

測量や人工衛星を使った位置測定の世界大手で、地球すべてを測定可能なGNSS測量機が強み。建機の自動化システムは習熟不要や人手不足解消に貢献しており、国内外で需要は拡大。世界的なインフラ整備の進展により長期的に需要拡大余地は大きい。また、国内ではICT施工システムを体験できるトレーニングセンターを全国4カ所に展開している。

②

8056 (売買単位:100株)

日本ユニシス

		連結経常利益 (伸び率)	
		2018/3	16,092 (16.2%)
9/26株価	2,930 円	2019/3予	18,000 (11.9%)
連予PER	23.2 倍	2020/3予	20,600 (14.4%)

クラウドサービスやアウトソーシングのほか、コンピュータシステムやネットワークシステムの販売・賃貸、ソフトウェアの開発・販売などを手掛けるITサービス企業。金融機関を中心に流通など幅広い業種と取引。また、キャッシュレス関連としても注目で、訪日外国人向けに、ヤマダ電機やドン・キホーテ、成田空港でのアライの決済サービスを提供しているほか、17年1月から全国のローソンでのサービスも開始している。

③

7701 (売買単位:100株)

島津製作所

		連結経常利益 (伸び率)	
		2018/3	41,871 (13.0%)
9/26株価	3,610 円	2019/3予	47,000 (12.2%)
連予PER	31.9 倍	2020/3予	48,000 (2.1%)

分析・計測機器の大手で、航空機器や医療用機器にも強い。医療用機器では血管撮影システムやPETシステム、放射線治療装置などを手掛ける。また、血液から大腸がんの可能性を早期に発見するサービスを10月から始めると発表。京都市内の病院と連携し、血液に含まれる物質を測定し、9割の確率でがんの可能性が高いと判断できる。

④

2491 (売買単位:100株)

バリューコマース

		連結経常利益 (伸び率)	
		2017/12	2,257 (2.3倍)
9/26株価	2,289 円	2018/12予	3,250 (44.0%)
連予PER	36.2 倍	2019/12予	3,400 (4.6%)

アフィリエイト(成果報酬型)広告の仲介大手。親会社にヤフー。ネット通販事業者向けに、広告配信サービスや、顧客関係管理ツールの提供などを行っている。足元では高客単価の顧客のみにクーポンを発行するといった顧客育成ツールがヤフーショッピングのストア向けに伸長している。またクリック課金型広告なども堅調に推移する。

⑤

8591 (売買単位:100株)

オリックス

		連結税引前利益 (伸び率)	
		2018/3	435,501 (2.5%)
9/26株価	1,844.0 円	2019/3予	480,000 (10.2%)
連予PER	7.2 倍	2020/3予	499,000 (4.0%)

大手総合リース企業。リースのほか、不動産、銀行、クレジット、ベンチャーキャピタルなど多くの事業を手掛けている。グループのオリックス自動車カーシェアリングを全国約1,600カ所で展開。マンションでのカーシェアリングの提案や、利用されていない土地や駐車場の空きスペースを使ったカーシェアリングの導入などもサポートしている。

最後に重要な注意事項が記載されていますので、十分にお読みください。

重要な注意事項

免責事項

- ・本レポートは、投資判断の参考となる情報提供のみを目的として作成されたものであり、個々の投資家の特定の投資目的、または要望を考慮しているものではありません。また、本レポート中の記載内容、数値、図表等は、本レポート作成時点のものであり、事前の連絡なしに変更される場合があります。なお、本レポートに記載されたいかなる内容も、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。投資に関する最終決定は投資家ご自身の判断と責任でなされるようお願いいたします。
- ・本レポートは、岡三証券が信頼できると判断した情報源からの情報に基づいて作成されたものですが、その情報の正確性、安全性を保証するものではありません。企業が過去の業績を訂正する等により、過去に言及した数値等を修正することがありますが、岡三証券がその責を負うものではありません。
- ・岡三証券及びその関係会社、役職員が、本レポートに記されている有価証券について、自己売買または委託売買取引を行う場合があります。岡三証券の大量保有報告書の提出状況については、岡三証券のホームページ(<http://www.okasan.co.jp/>)をご参照ください。

地域別の開示事項

日本:

○金融商品は、個別の金融商品ごとに、ご負担いただく手数料等の費用やリスクの内容や性質が異なります。金融商品取引のご契約にあたっては、あらかじめ当該契約の「契約締結前交付書面」(もしくは目論見書及びその補完書面)または「上場有価証券等書面」の内容を十分にお読みいただき、ご理解いただいたうえでご契約ください。

<有価証券や金銭のお預りについて>

株式、優先出資証券等を当社の口座へお預けになる場合は、1年間に3,240円(税込み)の口座管理料をいただきます。加えて外国証券をお預けの場合には、1年間に3,240円(税込み)の口座管理料をいただきます。ただし、当社が定める条件を満たした場合は当該口座管理料を無料といたします。

なお、上記以外の有価証券や金銭のお預りについては料金をいたしません。さらに、証券保管振替機構を通じて他社へ株式等を口座振替する場合には、口座振替する数量に応じて、1銘柄あたり6,480円(税込み)を上限として口座振替手数料をいただきます。

お取引にあたっては「金銭・有価証券の預託、記帳及び振替に関する契約のご説明」の内容を十分にお読みいただき、ご理解いただいたうえでご契約ください。

<株式>

・株式の売買取引には、約定代金(単価×数量)に対し、最大1.242%(税込み)(手数料金額が2,700円を下回った場合は2,700円(税込み))の売買手数料をいただきます。ただし、株式累積投資は一律1.242%(税込み)の売買手数料となります。国内株式を募集等により購入いただく場合は、購入対価のみをお支払いいただきます。

・外国株式の海外委託取引には、約定代金に対し、最大1.35%(税込み)の売買手数料をいただきます。外国株式の国内店頭(仕切り)取引では、お客様の購入および売却の単価を当社が提示します。この場合、約定代金に対し、別途の手数料および諸費用はかかりません。

※外国証券の外国取引にあたっては、外国金融商品市場等における売買手数料および公租公課その他の賦課金が発生します(外国取引に係る現地諸費用の額は、その時々々の市場状況、現地情勢等に応じて決定されますので、その合計金額等をあらかじめ記載することはできません)。外国株式を募集等により購入いただく場合は、購入対価のみをお支払いいただきます。

・株式は、株式相場、金利水準、為替相場、不動産相場、商品相場等の変動による株価の変動によって損失が生じるおそれがあります。

・株式は、発行体やその他の者の経営・財務状況の変化およびそれらに関する外部評価の変化等により、株価が変動することによって損失が生じるおそれがあります。

・また、外国株式については、為替相場の変動によって、売却後に円換算した場合の額が下落することによって損失が生じるおそれがあります。

<債券>

・債券を募集・売出し等により、または当社との相対取引により購入いただく場合は、購入対価のみをお支払いいただきます。

・債券は、金利水準、株式相場、為替相場、不動産相場、商品相場等の変動による債券価格の変動によって損失が生じるおそれがあります。

- ・債券は、発行体やその他の者の経営・財務状況の変化およびそれらに関する外部評価の変化等により、債券価格が変動することによって損失が発生するおそれがあり、また、元本や利子の支払いの停滞もしくは支払い不能の発生または特約による元本の削減等のおそれがあります。
- ・金融機関が発行する債券は、信用状況の悪化により本拠所在地国の破綻処理制度が適用され、債権順位に従って元本や利子の削減や株式への転換等が行われる可能性があります。ただし、適用される制度は発行体の本拠所在地国により異なり、また今後変更される可能性があります。

<個人向け国債>

- ・個人向け国債を募集により購入いただく場合は、購入対価のみをお支払いいただきます。個人向け国債を中途換金する際は、次の計算によって算出される中途換金調整額が、売却される額面金額に経過利子を加えた金額より差し引かれます(直前2回分の各利子(税引前)相当額×0.79685)。
- ・個人向け国債は、安全性の高い金融商品ではありますが、発行体である日本国政府の信用状況の悪化等により、元本や利子の支払いが滞ったり、支払い不能が生じるおそれがあります。

<転換社債型新株予約権付社債(転換社債)>

国内市場上場転換社債の売買取引には、約定代金に対し、最大1.08%(税込み)(手数料金額が2,700円を下回った場合は2,700円(税込み))の売買手数料をいただきます。転換社債を募集等によりご購入いただく場合は、購入対価のみをお支払いいただきます。転換社債は転換もしくは新株予約権の行使対象株式の価格下落や金利変動等による転換社債価格の下落により損失が生じるおそれがあります。また、外貨建て転換社債は、為替相場の変動等により損失が生じるおそれがあります。

<投資信託>

- ・投資信託のお申込みにあたっては、銘柄ごとに設定された費用をご負担いただきます。
 - お申込時に直接ご負担いただく費用:お申込手数料(お申込金額に対して最大3.78%(税込み))
 - 保有期間中に間接的にご負担いただく費用:信託報酬(信託財産の純資産総額に対して最大年率2.2312%(税込み))
 - 換金時に直接ご負担いただく費用:信託財産留保金(換金時に適用される基準価額に対して最大0.5%)
- ・その他の費用:監査報酬、有価証券等の売買にかかる手数料、資産を外国で保管する場合の費用等が必要となり、商品ごとに費用は異なります。お客様にご負担いただく費用の総額は、投資信託を保有される期間等に応じて異なりますので、記載することができません(外国投資信託の場合も同様です)。
- ・投資信託は、国内外の株式や債券等の金融商品に投資する商品ですので、株式相場、金利水準、為替相場、不動産相場、商品相場等の変動による、対象組入れ有価証券の価格の変動によって基準価額が下落することにより、損失が生じるおそれがあります。
- ・投資信託は、組入れた有価証券の発行者(或いは、受益証券に対する保証が付いている場合はその保証会社)の経営・財務状況の変化およびそれらに関する外部評価の変化等による、対象組入れ有価証券の価格の変動によって基準価額が変動することにより、損失が生じるおそれがあります。
- ・上記記載の手数料等の費用の最大値は、今後変更される場合があります。

<信用取引>

信用取引には、約定代金に対し、最大1.242%(税込み)(手数料金額が2,700円を下回った場合は2,700円(税込み))の売買手数料、管理費および権利処理手数料をいただきます。また、買付けの場合、買付代金に対する金利を、売付けの場合、売付株券等に対する貸株料および品貸料をいただきます。委託証拠金は、売買代金の30%以上で、かつ300万円以上の額が必要です。信用取引では、委託証拠金の約3.3倍までのお取引を行うことができるため、株価の変動により委託証拠金の額を上回る損失が生じるおそれがあります。

○自然災害等不測の事態により金融商品取引市場が取引を行えない場合は売買執行が行えないことがあります。

○平成49年12月までの間、復興特別所得税として、源泉徴収に係る所得税額に対して2.1%の付加税が課税されます。

岡三証券株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第53号

加入協会:日本証券業協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、一般社団法人第二種金融商品取引業協会

香港:

本レポートは、香港証券先物委員会(SFC)の監督下にある岡三国際(亜洲)有限公司によって、SFCに規定される適格機関投資家(PI)に配信されたものです。本レポートに関するお問い合わせは岡三国際(亜洲)有限公司にお願いします。

米国:

本レポートは岡三証券が作成したものであり、1934年米国証券取引所法に基づく規則15a-6に規定される米国主要機関投資家のみ配信されたものです。岡三証券は、米国内における登録業者ではないため、米国居住者に対しブローカー業務を行いません。本レポートで言及されている銘柄の売買注文は、アーバック・グレイソン社を通して執行いたします。

なお、本レポートは、受領者及びその従業員が使用することを目的として配信しております。

さらに、本レポートのアナリストは米国で活動をしていないため、米国のリサーチ・アナリストとして登録されておらず、資格も有しておりません。また、当該アナリストは、アーバック・グレイソン社または他の業者の関係者ではありません。したがって、当該アナリストは、米国金融規制機構(FINRA)規則の適用の対象ではありません。

その他の地域:

本レポートは参照情報の提供のみを目的としており、投資勧誘を目的としたものではありません。

本レポートの受領者は、自身の投資リスクを考慮し、各国の法令、規則及びルール等の適用を受ける可能性があることに注意をする必要があります。

地域によっては、本レポートの配布は法律もしくは規則によって禁じられております。本レポートは、配布や発行、使用等を行うことが法律に反したり、岡三証券に何らかの登録やライセンスの取得が要求される国や地域における国民や居住者に対する配布、使用等を目的としたものではありません。

※本レポートは、岡三証券が発行するものです。本レポートの著作権は岡三証券に帰属し、その目的いかんを問わず無断で本レポートを複写、複製、配布することを禁じます。

(2017年7月改定)